

■飯沢匡 戦時下、機知に富んだ劇を発表し、〈敗戦〉後も、反俗精神溢れるラジオ・テレビのシナリオや新聞小説。

いいざわただす

伊藤博文暗殺1909＝ 和歌山市で内務官僚伊沢多喜男の次男に生まれる。母は色川武大の親戚の色川家の人。名は紀(ただす)。

明治天皇没・1912＝ 3歳：

本格政党内閣1918＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝12歳：

水平社結成・1922＝13歳：東京高等師範学校附属小学校を卒業。

金融恐慌・・・1927＝18歳：

武蔵高を退校となり、

〔文化学院〕美術科在学中に〔テアトル・コメディ〕に参加し、

満州事変・・・1931＝22歳：

五一五事件・1932＝23歳：\*「藤原閣下の燕尾服」を発表、機知にとんだ作風で注目された。

国際連盟脱退1933＝24歳：卒業して〔東京朝日新聞〕に入社。

二二六事件・1936＝27歳：

日中戦争始・1937＝28歳：

日米開戦・・・1941＝32歳：

創価学会検挙1943＝34歳：「北京の幽霊」。『再会』でNHKラジオ賞、

年金+総武装1944＝35歳：\*「鳥獣合戦」など、時局を鋭く風刺した戯曲を発表して、劇作家としての地位を確立したが、

敗戦・・・・・・1945＝36歳：〈敗戦〉後、

〔婦人朝日〕や〔アサヒグラフ〕の編集長となり、多忙を極め、一時劇作を止める。

独立回復・・・1951＝42歳：飯沢匡ラジオ・ドラマ選集刊行。「崑崙山の人々」などの佳作を書き、

メテ-事件・1952＝43歳：翻訳「サル王子の冒険」。「濯ぎ川」。〔アサヒグラフ〕で原爆被害写真初公開し即日売り切れ、

TV放送始・・・1953＝44歳：小説「腸詰奇談」が第29回直木賞候補作に。

自衛隊発足・1954＝45歳：以後3年、黒柳徹子がデビューした\*「ヤン坊ニン坊トン坊」放送。〔朝日新聞〕を退社。「二号」で第1回岸田演劇賞、「ヘンデルとグレーテル」でサンケイ児童出版文化賞。

55年体制始・1955＝46歳：「都会の底」「日本陥没」「花嫁はどこにいる」「青春手帖」刊行。

国連加盟・・・1956＝47歳：「狂った髭」「抵抗クラブ」「恋がたき皇太子」刊行。

なべ底不況・1957＝48歳：「近くて遠きは」刊行。NHK放送文化賞。

イスタントラーメン・1958＝49歳：「帽子と鉢巻」「シャニム二嬢」「無害な毒薬」刊行。

美智子妃・・・1959＝50歳：「むだ口・かげ口・へらず口」「このさき危険」刊行。

安保闘争・・・1960＝51歳：「紙・石・ハサミ」刊行。NHK幼児番組「プーフィー」放送開始(以後7年)、

TV宇宙中継始1963＝54歳：

東京リビック1964＝55歳：「飯沢匡狂言集」刊行、

大学紛争始・1965＝56歳：「異説“円空”論」刊行、

美濃部都知事1967＝58歳：「出来過ぎた娘」「わが俗舌」刊行。「ダットくん」放送(以後2年)。〔五人のモヨノ〕で、

霞ヶ関ビル・1968＝59歳：読売文学賞。

全共闘ビーク・1969＝60歳：「とんちんこぼうず」放送(以後2年)。〔みんなのカーリ〕で斎田喬戯曲賞、

大阪万博・・・1970＝61歳：「もう一人のヒト」で小野宮吉戯曲平和賞。「飯沢匡喜劇集」全8巻。

トルジョック・・・1971＝62歳：翻訳「王さまのすきなピックル・パイ」。「とんでけブッチャー」放送(以後3年)。

日中国交回復1972＝63歳：対談集「遠近問答」。「飯沢匡刺青小説集」「反骨の絵師歌川国芳」「芝居 見る・作る」刊行。

石油ショック1973＝64歳：「どうもピンボケ」刊行。〔沈氏の日本夫人〕で紀伊国屋演劇賞、

角栄金脈辞任1974＝65歳：「世相斜断記」刊行。「うごけぼくのえ」放送(以後2年)。

ケラッパ-ル事件1975＝66歳：「ドン・キホーテの国」「二人で嘘を」刊行、

田中角栄逮捕1976＝67歳：「脱俗の画家 横井弘三の生涯」刊行。翌年にかけて「ペリカンおばさん」放送。ロッキード事件に材をとった「多すぎた札束」、

JALハイジャック・1977＝68歳：「武器としての笑い」刊行。この年開館した(いわさきちひろ絵本美術館)の初代館長。

成田衝突・・・1978＝69歳：「飯沢匡のもの言いモノログ」「現代漫画家列伝」「漫画100年史」「女の女におお女よ!」「飯沢匡の社会望遠鏡」

刊行。翌年にかけて「おもちゃおじさん」放送。小松左京・島尾敏雄原作「夜の笑い」脚本・演出で、

革新大敗北・1979＝70歳：「かいじゅうくんこんにちわ」「セルパン股蔵色暦」刊行。「ミューミューニャーニャー」放送(以後4年)。〔毎日芸術賞〕など、知的な批評精神が評価され続け、

政治喜劇三部作「多すぎた札束」刊行。

中曽根内閣・1982＝73歳：「我他彼此論」刊行。

デイズ・ニャート・1983＝74歳：日本芸術院会員。

・・・・・・1984＝75歳：「もの好き世間話」「飯沢匡新狂言集」「飯沢匡のひよっこり訪問」刊行。

ジャンボ機墜落1985＝76歳：「うごうむごう記」刊行。

バブル始・・・1986＝77歳：「コメディの復讐」刊行。

竹下内閣・・・1987＝78歳：自伝「権力と笑いのはざ間で」、

リクルート事件・1988＝79歳：\*「異史明治天皇伝」を出版するなど、反骨精神を発揮し続けたが、

トイ統一・・・1990＝81歳：

バブル崩壊・・・1992＝83歳：翌年にかけて「飯沢匡喜劇全集」全6巻が刊行されてまもなく、

自社さ連立・1994＝85歳：没した。

「この人どんな人」、